

学校教育（安全対策・不登校）

【テーマ】学校教育の安全対策と不登校への支援

【質問のポイント（崎尾）】・子どもたちの安全を守るための対策は十分か？

- ・教員だけで問題行動に対応できているのか？
- ・不登校児童生徒の増加にどのように対応しているか？
- ・「行きたくなる学校づくり」の具体的な工夫はあるか？

【市の答弁】・各学校で危機管理マニュアルを整備し、防犯カメラやさすまたを配置。

- ・外部機関（スクールサポーター、弁護士、心理士など）と連携強化。
- ・不登校への対応ルールを統一：

1日目 電話、2日目 家庭連絡、3日目 訪問＋チーム支援。

- ・「やまびこ学級」など、学校外でも学べる環境を提供。

【崎尾の提案】

- ・教職員の負担を減らすため、学校警備員の配置を提案（埼玉県戸田市の事例を参考）。
- ・不登校支援拠点の拡充と、家庭・学校・地域をつなぐ支援を強化。
- ・教育への関心を高める新しい教材として「マイクラフト教育版」を紹介。

【マイクラフト教育版の意義】

マイクラフトは全世界で2億本以上販売される創造型ゲームです。子どもたちにとって身近でありながら、論理的思考・空間認識・協働学習を自然に身につけられる教材です。崎尾は、これを「子どもが自分から行きたくなる学校づくり」のきっかけにできると提案しました。

この教材を導入すれば、・ICT教育とプログラミングの強化

- ・仲間との共同制作を通じた人間関係づくり
- ・不登校児童の社会的自立を支える“共通言語”の形成につながると述べています。

【まとめ】> 教育は安全であること、そして楽しいものであること。崎尾は、教員と地域が協力し、子どもが安心して通える、そして学びたくなる学校づくりを求めました。